

鉄道開通と品川

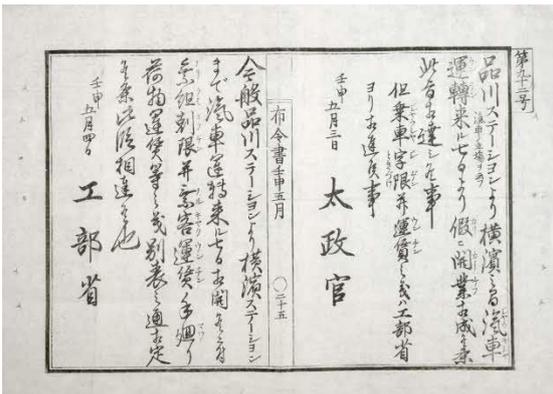
2_04_01



開業当時の品川駅の模型

品川駅は、明治5年5月7日（1872年6月12日）に開業しました。日本ではじめて鉄道が走ったのが品川から横浜の間で、4ヶ月後の9月12日（1872年10月14日）に品川から新橋の間が開通し、正式開業しました。当時の品川駅は、現在の駅より約300メートル南に存在し、駅は木造の平屋造りでした。駅のすぐ隣まで海が広がっていました。

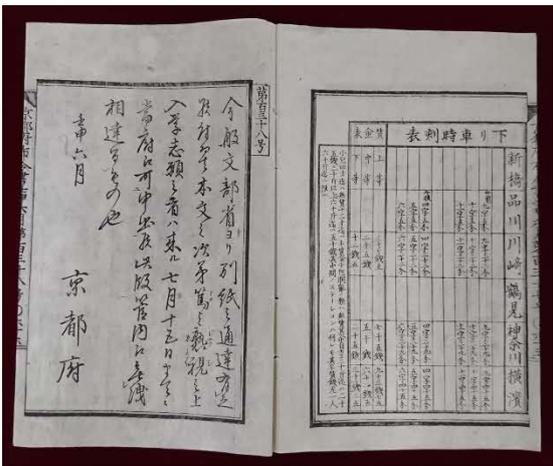
2_04_02



仮開業通知

明治5年（1872）5月
仮開業当日は、品川・横浜間の所要時間は35分で、1日2往復運行しました。

2_04_03



仮開業中の運賃・時刻表

明治5年（1872）6月
明治5年6月5日（1872年7月10日）の川崎駅・神奈川駅の開業に伴い、時刻表は改訂されました。当初は1日6往復でしたが、両駅の開業により2往復追加されることとなりました。

2_04_04



イラストレイテッド・ロンドン・ニュース 横浜駅での開業式の様子

1872年12月21日号
開業式の様子を描いたイギリスの新聞です。新橋から出発した蒸気機関車が横浜駅に到着し、式典に向かう天皇一行の様子が描かれています。また式典にスコットランド射手警備隊の制服で現れ、参加者の目を引きつけたW・カーギルが左端に描かれています。W・カーギルはイギリス人の銀行家で、日本人技師と外国人技師の間の調整役でした。

2_04_05



開業当時の切符（想定復元）

新橋^{ていしゃば}停車場の跡地周辺の遺跡「汐留遺跡」の発掘調査で見つかった新橋・横浜間の切符をもとに復元したものです。当時の切符は、一等が白色、二等が青色、三等が淡赤色で、乗車区間の駅名と等級、注意事項が印字されていました。日本語・英語・ドイツ語・フランス語の併記は一等のみで、二等と三等は日本語と英語併記でした。